



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日

上場会社名 株式会社ユーシン精機

上場取引所 東

コード番号 6482 URL http://www.yushin.com

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小谷 眞由美

問合せ先責任者（役職名） 経理部責任者（氏名） 福井 理仁 TEL 075-933-9168

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,813	△11.0	1,664	△33.2	1,584	△33.4	1,123	△32.6
28年3月期第3四半期	15,527	22.5	2,494	70.1	2,379	38.9	1,668	54.3

（注）包括利益 29年3月期第3四半期 1,181百万円（△24.0％） 28年3月期第3四半期 1,554百万円（△5.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	64.27	-
28年3月期第3四半期	95.39	-

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,263	25,242	82.8
28年3月期	29,409	24,715	83.3

（参考）自己資本 29年3月期第3四半期 25,055百万円 28年3月期 24,509百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	15.00	-	21.00	36.00
29年3月期	-	15.00	-		
29年3月期（予想）				21.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△5.4	3,200	3.7	3,000	2.7	1,980	3.7	113.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.2. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	17,819,033株	28年3月期	17,819,033株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	331,436株	28年3月期	331,208株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	17,487,700株	28年3月期3Q	17,488,006株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) 受注及び販売の状況 .....	8
(2) 海外売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における世界経済は、米国では引き続き個人消費が底堅く推移し安定した成長が続きました。欧州では英国EU離脱問題による経済への影響が一時的なものであったことから景気は回復基調となりました。アジアでは中国での景気の減速基調が引き続きみられ、新興国での経済成長は鈍化した状況が続きましたが、総じて先進国を中心に緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、米国新政権の経済・貿易政策に対する今後の影響については不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き新規事業分野での業容を拡大、新商品の開発、世界規模での新規顧客の開拓を継続して行なっていくとともに、昨年12月には生産性の向上と業務の合理化を図るため、新本社工場を竣工し、新たな一步を踏み出しました。しかしながら、当第3四半期連結会計期間における連結売上高は上半期に受けた円高の影響により前年同期比11.0%減の13,813百万円となりました。利益面においては連結売上高の減少と新本社工場移転関連費用を計上したことにより、営業利益は前年同期比33.2%減の1,664百万円となりました。経常利益については前年同期比33.4%減の1,584百万円となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比32.6%減の1,123百万円と減収・減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

総資産は前期末(平成28年3月31日)に比べて853百万円増加し、30,263百万円となりました。これは主として新本社工場建設に伴い有形固定資産その他に含まれている建設仮勘定が4,583百万円減少しましたが、建物及び構築物が4,166百万円及び受取手形及び売掛金が588百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

負債は前期末に比べて327百万円増加し、5,020百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が575百万円増加したことによるものです。

#### (純資産)

純資産は前期末に比べて526百万円増加し、25,242百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月3日に公表いたしました平成29年3月期の通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はございません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及びその他の包括利益累計額に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が20,367千円、利益剰余金が20,367千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,341,166	4,594,058
受取手形及び売掛金	6,026,195	6,615,084
商品及び製品	762,329	903,614
仕掛品	625,413	1,010,737
原材料及び貯蔵品	2,286,051	2,274,597
未収消費税等	102,232	476,064
繰延税金資産	625,342	582,198
その他	218,723	520,183
貸倒引当金	△30,483	△23,749
流動資産合計	15,956,972	16,952,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,855,686	6,022,639
土地	5,779,928	5,777,059
その他(純額)	4,801,374	406,117
有形固定資産合計	12,436,989	12,205,816
無形固定資産		
無形固定資産	369,502	405,222
投資その他の資産		
投資有価証券	185,438	234,292
退職給付に係る資産	266,874	267,496
その他	193,840	197,529
貸倒引当金	△14	△61
投資その他の資産合計	646,137	699,258
固定資産合計	13,452,630	13,310,296
資産合計	29,409,602	30,263,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,169,103	2,744,961
未払金	776,774	678,533
未払法人税等	548,986	162,707
前受金	278,867	517,282
賞与引当金	236,000	132,806
役員賞与引当金	29,960	22,050
製品保証引当金	148,441	128,372
その他	204,559	350,021
流動負債合計	4,392,694	4,736,735
固定負債		
役員退職慰労引当金	66,780	66,780
退職給付に係る負債	44,043	46,650
繰延税金負債	123,350	107,941
その他	67,065	62,851
固定負債合計	301,239	284,223
負債合計	4,693,933	5,020,959
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,985,666	1,985,666
資本剰余金	2,023,903	2,023,903
利益剰余金	20,502,208	21,016,927
自己株式	△352,731	△353,520
株主資本合計	24,159,047	24,672,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,920	67,810
為替換算調整勘定	266,643	264,413
退職給付に係る調整累計額	50,245	50,199
その他の包括利益累計額合計	350,808	382,423
非支配株主持分	205,812	186,725
純資産合計	24,715,668	25,242,126
負債純資産合計	29,409,602	30,263,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	15,527,582	13,813,418
売上原価	8,964,585	8,130,020
売上総利益	6,562,997	5,683,398
販売費及び一般管理費	4,068,843	4,018,499
営業利益	2,494,154	1,664,898
営業外収益		
受取利息	10,308	4,761
受取配当金	4,722	4,683
仕入割引	11,216	9,800
補助金収入	12,208	11,672
その他	15,719	12,289
営業外収益合計	54,175	43,206
営業外費用		
売上割引	617	857
為替差損	167,910	116,673
その他	214	5,829
営業外費用合計	168,742	123,361
経常利益	2,379,586	1,584,744
特別利益		
固定資産売却益	121	905
投資有価証券売却益	1,104	—
特別利益合計	1,226	905
特別損失		
固定資産除売却損	833	48,909
特別損失合計	833	48,909
税金等調整前四半期純利益	2,379,980	1,536,739
法人税等	648,369	389,535
四半期純利益	1,731,610	1,147,204
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,426	23,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,668,184	1,123,910

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,731,610	1,147,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,256	33,890
為替換算調整勘定	△161,467	304
退職給付に係る調整額	△3,335	△45
その他の包括利益合計	△177,060	34,149
四半期包括利益	1,554,550	1,181,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,510,040	1,155,525
非支配株主に係る四半期包括利益	44,509	25,828

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	7,597,719	2,647,127	3,976,678	1,306,057	15,527,582	—	15,527,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,416,953	11,636	249,024	2,670	3,680,285	(3,680,285)	—
計	11,014,672	2,658,763	4,225,703	1,308,727	19,207,867	(3,680,285)	15,527,582
セグメント利益	1,096,468	315,987	691,999	301,539	2,405,996	88,157	2,494,154

(注) 1. セグメント利益の調整額88,157千円は、セグメント間取引消去59,586千円、棚卸資産の調整額28,571千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	7,942,648	2,386,574	3,194,568	289,627	13,813,418	—	13,813,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,839,287	9,220	171,886	445	3,020,838	(3,020,838)	—
計	10,781,935	2,395,794	3,366,454	290,072	16,834,257	(3,020,838)	13,813,418
セグメント利益又は損 失( )	1,029,164	235,281	277,753	(13,353)	1,528,845	136,052	1,664,898

(注) 1. セグメント利益の調整額136,052千円は、セグメント間取引消去39,795千円、棚卸資産の調整額96,257千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

a. 受注の状況

①受注高

製品等の区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	前年同期比 (%)
取出口ロボット(千円)	10,044,719	10,016,915	99.7
特注機(千円)	1,984,828	2,674,262	134.7
部品・保守サービス(千円)	2,456,912	2,322,984	94.5
合計(千円)	14,486,460	15,014,163	103.6

②受注残高

製品等の区分	前第3四半期連結会計期間末 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成28年12月31日)	前年同期比 (%)
取出口ロボット(千円)	2,044,648	2,418,198	118.3
特注機(千円)	1,550,709	1,331,984	85.9
部品・保守サービス(千円)	230,125	231,969	100.8
合計(千円)	3,825,483	3,982,152	104.1

b. 販売の状況

製品等の区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	前年同期比 (%)
取出口ロボット(千円)	10,505,087	9,519,868	90.6
特注機(千円)	2,596,941	2,007,452	77.3
部品・保守サービス(千円)	2,425,553	2,286,097	94.3
合計(千円)	15,527,582	13,813,418	89.0

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

	北米地域	アジア地域	欧州地域	その他の地域	計
海外売上高(千円)	2,819,756	6,465,736	1,238,477	322,333	10,846,303
連結売上高(千円)					15,527,582
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.2	41.6	8.0	2.1	69.9

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

	北米地域	アジア地域	欧州地域	その他の地域	計
海外売上高(千円)	2,730,397	4,692,385	490,895	297,789	8,211,468
連結売上高(千円)					13,813,418
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.8	34.0	3.6	2.2	59.4